

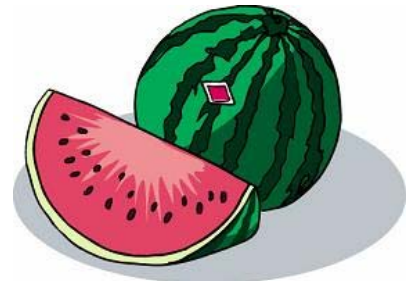
No.262

10月1日に、私たち住友金属は新日本製鐵と経営統合し、新日鐵住金株式会社として新たなスタートを切ります。住友金属のマンズリーレビューはこれが最終号です。ご愛読いただき、ありがとうございました。新日鐵住金の情報発信は、新しいメディアでお届けすることでたまたま検討中です。どうぞ楽しみにお待ちください。

マンズリーレビューは1989年5月に創刊、第2号は「やわらかアタマしてますか？」のフレーズで話題になったテレビCMの話でした。それから23年間、合計262号を発行しました。技術開発、新製品、お客さまからの評価、さらには野球部や合唱団の活躍など、さまざまな話題をお届けしてきました。最後のレビューは、2つの受賞の話題です。

一つ目は、建築構造用1000N級鋼の技術が、(社)日本溶接協会と(社)日本鋼構造協会からそれぞれ賞をいただいた話題です。二つ目は、トヨタ自動車九州(株)殿が新設した「鋼板品質レクサスプラチナ賞」を、鋼板メーカーとして初めて受賞した話題です。

私たちは、「鉄づくりに社会に貢献する」ことを経営の基本に事業活動を行ってきました。その姿勢を新日鐵住金に引き継ぎ「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」を目指します。これからの私たちの活躍にご期待ください。



●1000N(ニュートン)/mm<sup>2</sup>の力に耐える耐震性鋼材\*  
建築構造用1000N級鋼の技術がダブル受賞

私たちと大阪大学、神戸大学、(株)日建設計殿および片山ストラテック(株)殿で共同で開発した建築構造用1000N級鋼は、最高強度の建築鉄骨用厚鋼板です。制振デバイスと併用することで大地震にも損傷せずその後使用できる「無損傷建物」を実現し、2011年10月に竣工した私たちの総合技術研究所に世界で初めて使用されました。この度、この1000N級鋼の技術が相次いで受賞しました。

1000N級鋼材の溶接材料と利用技術開発に対して、大阪大学、神戸大学、(株)日建設計殿および片山ストラテック(株)殿と連名で(社)日本溶接協会「技術開発奨励賞」が授与されました。この賞は、発展が期待される溶接技術開発に贈られる賞です。溶接後一定時間を経過して生じる溶接部の割れ(低温割れ)防止と強度と靱性の3つが両立するための最適な化学成分を見出し、母材とほぼ同レベルの強度特性がある溶接部を得ることが評価されました。

また、1000N級鋼を採用した「住友金属総合技術研究所の新研究棟の設計と施工」で、(株)日建設計殿、清水建設(株)殿および片山ストラテック(株)殿と連名で(社)日本鋼構造協会「業績賞」を受賞しました。鋼構造およびその複合構造に関する技術の向上及び発展・普及に貢献した業績に贈られる賞です。

新しい総合技術研究所では、1階に制振デバイスを集中配置して、柱がしなやかに揺れ、地震エネルギーの大半を制振デバイスが吸収する構造にして、高い耐震性を確保したことで受賞しました。表彰式は11月の「鋼構造シンポジウム2012」で、受賞記念講演と併せて行われます。

いずれも、大変名誉ある賞です。

今や巨大地震対策は急務です。今後も私たちは、安全・安心な社会の構築に高機能鋼材を提案していきます。



左から  
総合技術研究所 主任研究員 川畑友弥  
片山ストラテック(株) 殿 理事 橋田知幸氏  
大阪大学 教授 多田元英氏  
神戸大学 教授 多賀謙蔵氏(元(株)日建設計殿)  
(株)日建設計殿 部長 吉澤幹夫氏

\*1000N(ニュートン)/mm<sup>2</sup>の力に耐える耐震性鋼材(1000N級鋼)：

鋼材の断面積1mm<sup>2</sup>あたりおよそ1000N(約102kg)程度の引張り力に耐える(引張強さ)、世界最高の強度を有する建築構造用厚鋼板。降伏点の下限値が880N/mm<sup>2</sup>、引張強さの下限値が950N/mm<sup>2</sup>。  
建築分野で汎用的に使用される490N級鋼に対して、降伏強さで2.5倍、引張強さ2倍の強度を持つ。

●5年連続で高い評価をいただきました

トヨタ自動車九州(株) 殿より「鋼板品質レクサスプラチナ賞」を受賞

私たちは、このたび、トヨタ自動車九州(株) 殿(以下トヨタ九州殿)の鋼板品質まとめ会にて、「鋼板品質レクサスプラチナ賞」をいただきました。

レクサスを生産しているトヨタ九州殿では、品質実績が特に優れたメーカーを選び、毎年表彰しています。私たちは、2006年と2007年に「品質優秀賞」を、2008年から昨年までは最上位の賞である「鋼板品質レクサス賞」を4年連続でいただきました。今回、「鋼板品質レクサス賞」を5年連続受賞したメーカーに贈られる「プラチナ賞」が新設され、私たちが初受賞の栄誉に浴することになりました。

私たちは、経験豊富な品質巡回者を定期的にお客さまの製造現場に派遣して、品質状況を把握し、ご要望を製鉄所に迅速にフィードバックする体制を整えています。このような、製造・販売・技術が一体となった活動と、高品質の鋼板を安定して納入している実績を今年もご評価いただけたことは、さらなる進化を目指すための励みになります。

私たちはこれからも、お客さまに満足していただけるサポートや高い品質を目指して取り組んでいきます。



左から

トヨタ自動車九州（株） 取締役宮田工場長 米岡俊郎氏、  
薄板生産技術部長 花畑浩喜、薄板管理室参事補 笠木泰雄